

宮古島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する
パブリックコメント実施結果について

1. 実施概要

- (1) 実施期間：平成 28 年 1 月 27 日(水)～平成 28 年 2 月 9 日(火)
- (2) 公表方法：市ホームページ、各庁舎 1 階ロビー
- (3) 意見提出方法：直接持参、メール、ファクシミリ、郵送、各庁舎 1 階ロビー設置 BOX 投函
- (4) 意見提出者：3 者【内訳：個人 3、団体 0】
- (5) 意見の内容
 - ①宮古島市人口ビジョンについて… 2 件
 - ②宮古島市まち・ひと・しごと創生総合戦略について… 22 件
 - ③その他… 3 件

2. 提出意見の概要と市の考え方

(1)宮古島市人口ビジョンについて

	意見概要	市の考え方
1	宮古島市まち・ひと・しごと創生総合戦略が 2015～19 年度の計画であるが、人口ビジョンが平成 72 年(2060 年)とはあまりにも離れていて実感がない。	人口ビジョンは、長期的な視野に立った将来の人口展望を行うため、国及び沖縄県における人口ビジョンの整合性と図り、長期的な計画期間を設定しております。また、平成 22 年から平成 72 年までの 5 年毎に人口推計を行い、市民意識調査結果を参考に設定した合計特殊出生率、移動率等を考慮した推計であるため、将来の人口展望につきましても総合戦略における施策の進捗状況や効果検証とあわせて、適宜検証してまいります。
2	人口ビジョンの中で、もう少し分析がされるべきではないでしょうか。より深く分析することにより、今後取り組むべき具体策へのヒントがさらに出てくるのではないのでしょうか。(例：図 2-1 で S40-45 になぜ年少人口や生産年齢人口が大きく落ちたか、S45-50 で年少人口が大きく減ったのに生産年齢人口はなぜ増えたのか、図 2-8 で 04-05 年になぜ転入者が大きく減ったか、07-08 で転入者が増加した理由、図 2-11 で 04-05 年における県内の転出入の減小、図 2-13 で 08-09 年に高卒者が増加した理由など)	本市における人口の増減は、本土復帰前後の集団就職による転出増加、リーマンショックによる雇い止めからの U ターンによる転入増・転出減などの社会的要因による影響や第 1 次産業の就業者の割合が高いことから台風の年間襲来回数による転出増、東日本大震災による避難のための転入増など自然災害による影響が、これまでの本市の人口動態に大きく影響していることが考えられます。 今後、さらに分析を深め、総合戦略を推進するにあたり施策の検討を行ってまいります。

(2)宮古島市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

	意見概要	市の考え方
1	30 頁の長い内容を読める市民がどれだけいますか。	総合戦略の推進にあたっては、市民をはじめ、地域、企業、団体等がそれぞれ持つ力を引き出し合い、相互に連携・協働しながらの取り組みが重要となるため、本計画公表の際には概要版を作成いたします。
2	総合戦略での施策展開は、すぐに取り組みができるもの（例えば子育て支援など）などのスケジュール設定をすることが重要と思います。	本計画で示しております主な具体的事業は、既に取り組んでいる事業の他、今後取り組む必要性がある事業を「事業名（仮称）」と表記しております。今後取り組む必要がある事業については、本計画期間で早急な対応を進めてまいります。
3	高校進学率の平均値が 97%を超え、統計書にみえる島全体の高学歴化は究極的にホワイトカラー志向だろう。そこで、既存の産業労働の場に就労者が減少することが予測できないか。その穴埋めをどうするのか。	平成 22 年国勢調査によると、前回調査と比較して本市の就業者数が減少しているものの、就業率は増加傾向となっています。若い世代の就業率が高まっており、基本目標 1 『働く場所』としての価値を高めるしごとを創出する』の施策展開の中で、働く場所として選択するしごとづくりを進めてまいります。
4	<p>基本目標 1-1)における観光収入をほぼ倍にする計画は意欲的で良いと思いますが、観光客がリピートでまた来たいと思える魅力ある施設がもっと必要で、例えばレンタカーの全EV化やE3燃料のみ使用、島内一周観光バスや主要宿泊施設と空港・平良間のバス運行、橋が開通した伊良部島の新たな観光施設として、ハワイにある曜日限定のファーマーズマーケット開催や、漁港に「お魚センター」を作り、新鮮な魚の販売や飲食できる施設としてはどうでしょうか。また、観光や環境に関連した専門学校の設立や既存高校への学科新設により島外からの学生を募集し、島内の若者や就業者にも教育ができるようにすると良いのではと思います。</p> <p>観光客として来島した方々が住みたいと思っ て移住するというパターンを増やすことが、宮古島の発展に繋がると思いますので、自然環境の素晴らしさに加えて外部の人が住みやすいと思う町、U J I ターンの人たちも買物が便利と思える施設も必要です。</p>	<p>ご提案の中にあります、「お魚センター」や専門学校の設立につきまして、それぞれ基本目標 1-2)-⑫、1-3)-③にて実施、検討を進めるところです。その他新たな観光資源のご提案につきまして、施策を展開するにあたりご参考とさせていただきます。</p> <p>また、本市を観光で訪れた方が、市民が住みやすいと感じるまちづくりに共感し、更に興味を持って頂けるよう、本計画を進めてまいります。</p>

	意見概要	市の考え方
5	基本目標 1-1)-①にてバリアフリー化の推進が計画されているが、観光地だけでなく移動のインフラ整備等も含めて計画して欲しい。	交通インフラの整備については、総合戦略の他、個別計画にて検討してまいります。
6	基本目標 1-1)-④については、インターンシップも重要であるが、島内に観光産業に従事できるような資格取得や専門学校(サテライトを含む)等地元の人が雇用されていけるような環境づくりが検討されているのかが気になります。	基本目標 1-3)の中で教育環境・拠点づくりを含め、地域企業等と連携した人材育成を検討してまいります。
7	基本目標 1-2) について、農業及び漁業に対してのブランド化がなされる施策が見当たらない。	本市の農林水産物のブランド化は、6次産業化プロジェクト推進事業やふるさと納税事業などにより、特産品 P R や新商品開発を進めてまいります。
8	基本目標 1-2)-④について、農業なら宮古島全体で事業化を図っていく等の工夫がこの戦略案からは感じられない。	基本目標 1-2)-④の取り組みは、農地集積を進めていく中での一つの取り組みであり、将来的な農業経営に関わる地域モデル事業となっております。農業の事業化に関する施策については、本計画の施策・事業の効果検証を適宜実施する中で、新たな事業検討を進めてまいります。
9	基本目標 1-2)-⑧について、漁業ならフィッシャーマンズジャパンのような組織化もしくは加入や維持・発展・プレミアム化を図れるような施策、インターンシップ等の施策を盛り込んで欲しい。	漁業発展に向けた宮城県三陸の若手漁師集団「フィッシャーマンズジャパン」の取り組みもご参考にし、あわせて移住・定住受け入れに向けたキッカケづくり事業(仮称)の中でもご参考とさせていただきます。
10	基本目標 1-3) について、宮古島に住む方々の仕事スキルをどのように向上させるかが重要です。県外の人材育成企業、経験者を受け入れて人材派遣会社を立ち上げ、色々なビジネススキルを向上させ、島内の施設や会社に派遣できないかと考えておりますので、何かこの方面でお役に立てればと思います。	積極的なご提案ありがとうございます。基本目標 1-3) の取り組みを展開する中で、連携した取り組みを検討してまいります。

	意見概要	市の考え方
11	<p>基本目標 1-4)について、特に環境・観光・IT関連産業に焦点を絞っているようですが、沖縄県国際物流ハブ化にて、その一翼を担うチャンスがあると考えており、例えば沖縄本島で中古車の整備と輸出を行う場合、宮古島では電装品や車の保守部品を東南アジアに直送できる拠点にできるのではないのでしょうか。</p> <p>また、下地島空港の整備により東南アジアなどとの交流ができれば、沖縄本島よりさらにアジアに近い地の利を活かせると考えています。</p>	<p>沖縄県国際物流ハブ化は、沖縄を拠点とした在庫モデルとしてアジア向けリペアパーツ在庫拠点や電子機器等の検査・修理拠点、通販・Eコマース拠点化、アジアマーケットへ全国の特産品や農水産物を輸出する流通拠点化を目指しておりますので、市内企業がアジアマーケットへ競争力を高めるため、可能性を検討して参ります。</p> <p>下地島空港の利活用については、空港を管理する沖縄県の公募に応じて、民間企業がいくつかの具体的な計画を提案しており、県と連携して計画・実現に向けて取り組む方針です。</p>
12	<p>基本目標 1-4)-⑤については、早急に取り組んで欲しい。連動して基本目標 1-4)-⑥が機能するので、空き家のリノベーション等も含めてワーキングスペースづくりを実施して欲しいことを望みます。</p>	<p>当該事業を進めるにあたり、短期・中期・長期の具体的な計画を検討し、先に市施設をアンテナ的なサテライトオフィスとして提供する準備を進めております。また、空き家調査による台帳整備とともに利活用の検討を進め、中期・長期的に空き家も活用したサテライトオフィス等の活用を検討してまいります。</p>
13	<p>基本目標 2-1)-①における施設整備については、他地域にはないもしくは他地域と同様レベルの施設整備が求められ、芝であれば天然に限らず人工芝等オールシーズンで利用できるものや体育館等であれば、競技にあわせた使いやすい設備等誘致へ魅力ある環境がみえる事業を望みます。</p>	<p>基本目標 2-1)-①を進めるにあたり、ご意見として承らせていただきます。</p>
14	<p>基本目標 2-1)-②については、インフラ整備及び観光に盛り込むかたちも含めて取り組んで欲しいです。</p>	<p>基本目標 2-1)-②は、観光の側面からも重要な要素であるため、十分に取り組んでまいります。</p>
15	<p>基本目標 2-1)-⑥については、イベントに限ることなくネットや相談支援窓口の常設を視野に入れて常に発信することを含めて事業を検討して欲しい。</p>	<p>基本目標 2-1)-⑥を進めるにあたり、基本目標 2-3)とあわせて検討してまいります。</p>

	意見概要	市の考え方
16	基本目標 2-2)-①はよい事業だと思いますので、内容が音楽フェス等の受け身のコンテンツだけに限ることなく、ワークショップのあるアートイベントやビーチクリーン等の体験型、ライド&ウォーク等エンジョイスポーツ等楽しめるイベントも含めて検討して欲しい。	基本目標 2-2)-①でのコンテンツのご提案は、事業推進の中で検討してまいります。
17	基本目標 2-2)-③は、案内板に限らず、アプリでの案内や検索環境や Wi-Fi 整備も検討されていると思われますので事業施策として盛り込んで欲しい。	基本目標 2-2)-③でのご意見は、関係関係者会議においても早急な対応課題とされており、受入環境整備を図ります。
18	基本目標 2-3)-①は、ぜひ早急にワーキングチームを立ち上げていただき実施に移して欲しい。期待しています。	ワーキングチームを立ち上げ、事業推進を検討してまいります。
19	基本目標 3-2)について、子育て支援や祝い金などの事業は、財源確保や予算化ができればすぐにでも実行可能な案件だと思いますので、それぞれいつから実行するか決めて、できるだけ早く実行されるべきと思います。このような支援策が充実しているという話が色々と伝われば、宮古島に住みたいと思う若い人が増えるはずです。 また、利用者支援事業やサポート事業には、できるだけ元気な高齢者を活用する仕組みを考えて欲しいです。	基本目標 3-2)にて記載しております主な具体的事業は、市民が子育てしやすい環境づくりを目指して既に取り組んでおり、平成 27 年度よりライフステージに即した子育て支援ができるよう利用者支援事業にて「子ども・子育て専門支援員」を配置しております。 充実した子育て支援事業を展開することで、市民をはじめ、今後子育て世代の方々々が魅力を感じて移住先に選択して頂くよう、今後も取り組みを強化してまいります。
20	基本目標 3-3)について、学力向上対策、魅力ある学校づくりは具体的な策が明確ではありません。教師のレベル向上や指導力向上に向けた取り組みやレベルの高い県外学校への見学や交流会への参加などが必要ではないと思います。また、学力向上とあわせて、国や地域を愛する子供、家庭を大切に子どもを育成し、宮古島を出ても将来戻り、宮古島のために力を尽くす人になるのではないかと思います。	本市では、教職員の指導力向上に向けて、学力上位県である秋田県教職員との交流研修会をはじめ、教育分野での ICT 機器等の活用による楽しい授業・わかる授業の構築や校務情報化による教職員の子どもと向き合う時間の拡大を目指した取り組みを実施しております。今後、超高速ブロードバンド情報通信基盤整備により全域での情報インフラ整備が予測されることから、ICT 機器等を利活用した遠隔交流授業などを進め、本市の教育レベルアップをさらに進めて参ります。

	意見概要	市の考え方
21	<p>基本目標 4-4) について、自主防災組織として現在宮古島にあるかどうか分かりませんが「消防団」など組織はないのでしょうか。県外では、東日本大震災以降地元の消防団組織と自治会の防災隊の組織化が災害対策として強化されつつあります。</p> <p>また、防犯灯や防犯カメラの設置は犯罪を未然に防ぐ効果があり、有効です。特に繁華街やコンビニ、その他商店街など防犯カメラ設置の補助金を出している自治体が増えています。</p>	<p>本市においても地域の消防団組織があり、大規模災害の発生時に行政・消防組織の対応だけでは救援救助が間に合わない事態を想定し、各自治体に対し集落単位で自主防災組織の結成を推進しております。</p> <p>安心安全な地域づくり、観光地づくりに向け、防犯灯の設置は毎年継続して実施しており、防犯カメラ設置についても平成 28 年度からスタートする予定です。</p>
22	<p>基本目標 4-3)-②は、市民にどう浸透させていくことができるのか何を持ってしてエコアイランドなのかを構築して欲しいです。建材や電化製品、飲食物の空き容器やたばこも含めた不法投棄等も考えるようなかたちでエコアイランドの認識を植え付けていけるよう検討して欲しい。</p>	<p>市民によるCO₂削減等のエコアクションをはじめ、島内における事業者、観光客など本市に関わる全ての人や団体が連携を図りながら、エコアイランドの認識を共有し、「エコアイランド宮古島」の具現化とその付加価値を高める取り組みを検討・推進してまいります。</p>

(3) その他

	意見概要	市の考え方
1	宮古島市若者定住促進条例の効用の検証はしましたか。	<p>当該条例に基づく宮古島市(旧市町村)定住促進事業は、平成 21 年度で事業終了し、その後庁内連絡会議にて事業の効果検証を実施いたしました。当該事業の課題として、移住する際の必要な情報(仕事、子育て、教育、地域など)提供の不足等から地域に馴染めないケースや定住奨励金受給後に転出するケースが挙げられました。</p> <p>本計画では、移住を希望される方が十分な判断材料により、本市への移住を検討していただける様、受け入れ体制の整備や子育て・暮らし等の情報発信を検討いたします。</p>
2	超高齢者社会の生活環境に緑の街角の現状は非常にさみしい限り。路線バスの拡充、自転車道ネットワーク計画はその後さっぱり聞こえてこない。	各種取り組みにつきましては、これまでの行政の取り組みに対するご指摘だと思われまますので、ご意見として承らせていただきます。また、高齢者の住みやすい生活環境の創出に向けたご意見として、本計画の施策・事業の効果検証を適宜実施する中で、検討してまいります。
3	昨年より「ふるさと納税」を貴市に納めていますが、他の自治体に比べて魅力があまりないように思います。これも宮古島を外部に PR する良い機会であり、同時に市の税収増にもつながるので、是非石垣市など他の自治体の事例を研究され、改善していただければ、さらに応援してくれる人が増えるものと思います。	「ふるさと納税」事業を本計画中の基本目標 1-2)、2-1) に盛り込み、平成 28 年度より本市の特産品を活用した事業を積極的に展開し、本市の応援サポーターが増えるよう取り組んでまいります。